

平成26年度入学生対象

別記様式2

副専攻プログラム説明書

開設学部(学科)名〔 工学部 〕

プログラムの名称	(和文) 建築副専攻プログラム
	(英文) Architecture and Building Engineering
1. プログラムの紹介と概要 <p>建築学は、建築物やそれを取り巻く環境の創造について、工学的に研究、開発する学問分野である。すなわち、建築設計とそれに関連する都市・地域の計画及びこれらの建設のプロセスを扱い、一個の住宅から共同住宅、様々な商店や事務所ビルなどの業務用建築、集会ホール、体育館、学校など、多岐にわたる建築物の計画的、環境・設備的、構造的な設計とそれらの配置を課題としている。その中心目標は、個々の人間と人間社会の営みに必要な空間を確保し、制御することである。そこでは、景観の美しいデザインや使い勝手の良さなどの機能性が図られるばかりでなく、地震や火災、風水害などに対して十分な安全性が確保されている必要がある。さらには、地球環境に及ぼす負荷の減少や自然環境との共生、審美的な価値や快適性の向上についても検討されなければならない。</p> <p>建築副専攻プログラムでは、こうした建築という学問分野の概要を理解し、建築を構成する計画、環境・設備、構造の各分野に関する専門的な知識・技能を理解・修得する上で必要となる基礎的科目群を提供する。又、その成果を具現化する建築設計製図について、基礎的演習を行う。</p>	
2. プログラムの到達目標 <ul style="list-style-type: none">・建築分野の概要およびその社会的役割の理解・計画、環境・設備、構造、生産各分野に関する基礎的知識の修得・建築設計製図に関する基礎的知識・技能の修得	
3. プログラムの履修時期・要件 <p>(1) 履修開始時期とプログラム登録時期</p> <ul style="list-style-type: none">・本プログラムは2年次以降に選択することができる。・プログラム登録は履修開始前の登録(事前登録)とする。 <p>(2) プログラム選択のための既修得要件(履修科目名及び単位数等)</p> <ul style="list-style-type: none">・本プログラムを選択するためには、教養教育科目における下記の基盤科目を修得していなければならない。 <p>微分積分学Ⅰ, 微分積分学Ⅱ, 一般力学Ⅰ, 空間の創造</p> <ul style="list-style-type: none">・施設、設備の関係上、受け入れ人数は、若干名とする。・建築主専攻プログラムの学生は、本副プログラムを選択することは出来ない。 <p>(3) 履修上の注意点</p> <p>各授業科目で単位を取得するために必要な出席および宿題・課題提出等に関しては、建築主専攻プログラムと同じ基準が適用される。</p>	
4. 教育内容・構造 <p>(1) 修了に必要な単位数</p> <p>別添の履修表の中から、すべての必修科目を含めて、20単位以上</p> <p>(2) 副専攻プログラムの構造</p>	

別添の履修表を参照のこと。
<p>5. 授業科目及び授業内容</p> <p>別添の履修表を参照すること。</p> <p>各授業科目の内容については、各年度に公開されるシラバスを参照のこと。</p>
<p>6. 評価</p> <p>(1) 試験・成績評価</p> <p>各授業科目における試験・成績評価基準に基づく。詳細については、各年度に公開されるシラバスを参照のこと。</p> <p>(2) 修了判定の基準</p> <p>別添の履修表の中から、すべての必修科目を含めて、20単位以上を取得すること。</p>
<p>7. プログラムの責任体制</p> <p>建築主専攻プログラム担当教員が担当する。</p>
<p>8. プログラムの受入上限数</p> <p>3名</p>
<p>9. プログラムの既修得単位等の認定単位数等</p> <p>(1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等</p> <p>既修得単位等の認定は行わない。</p> <p>(2) 広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等</p> <p>20単位 (但し、別添の履修表の授業科目のみ)</p>

【副専攻プログラム履修に関する注意事項】

- 主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した副専攻プログラムの授業科目履修が制限されることがある。
- 副専攻プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

科目区分	科目コード	授業科目	単位数	履修指定	毎週授業時数								備考
					第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
					前	後	前	後	前	後	前	後	
専門教育科目	K82360	建築材料	2					2					
	K82030	建築一般構造	2	必修			2						
	K82040	建築設計製図 I	2	必修			6						
	K82050	建築設計製図 II	2	必修				6					
	K82370	建築構造力学 I	4				4						
	K82380	建築構造力学 II	4					4					
	K82130	鉄筋コンクリート構造 I	2					2					
	K82160	建築行政	2						2				
	K82200	建築計画 I	2				2						
	K82220	建築環境学 I	2				2						
	K82310	鋼構造設計基礎	2					2					
	K82320	建築意匠	2				2						

全ての必修科目を含め、20単位以上履修のこと